

執筆のしおり

(2015年12月 改訂)

1. 原稿用紙および原稿の長さ

原稿用紙の書式は学会の定めるテンプレートに準ずる。原稿の長さは刷り上りの状態で下記のページ数を基準とする。刷り上り1ページを文字で全部を埋めた場合、2,548字(1行あたり26字×49行×2段)に相当する。なお、下記の刷り上りページ数には表題、要旨、図表などの全てを含むので、これらのスペースも考慮し、原稿を執筆すること。

- | | |
|---------------|------|
| (1) 研究： | 6ページ |
| (2) ショートペーパー： | 2ページ |
| (3) 報告： | 2ページ |
| (4) 投稿解説： | 6ページ |

ただしショートペーパーはページ数の上限を4ページとする。

2. 原稿の構成

原稿は、要旨、本文、謝辞、参考文献、著者紹介、図表の電子ファイルから成り、誓約書も必要である。

2.1 要旨

「研究」および「投稿解説」には和文および英文の両方の要旨を付す。「ショートペーパー」および「報告」には英文の要旨のみを付す。和文要旨は300字程度、英文要旨は200語程度にまとめる。

2.2 本文

原稿は、十分推敲し、簡潔でわかりやすいように、重点を強調して記述する。

(1) 原稿の言語

日本語を用いることを原則とするが、英語を用いてもよい。以下は、日本語を用いる場合の規定である。英語を用いる場合もこれに準ずる。

(2) 用語・単位・記号

文章は、できる限り当用漢字・新かなづかいを用いる。学術用語は、文部科学省、JIS または関連学会で定めたものを用いる。それ以外のは、慣用の学術用語および技術用語を使用する。単位は、国際単位系(SI)による。量および単位を表す記号は、なるべくJISで制定されたものを用い、必要があれば記号一覧表をつける。単位の記号は、50 kg, 100 mm, 30 degのように数値と単位の間には半角スペースを入れる。ただし%と℃にはスペースを入れない。

(3) 見出し

本文は、節、小節、項に区切る。節の見出し番号は1., 2., …, 小節の見出し番号は1.1, 1.2, …, 項の見出し番号は(1), (2), …とし、行の左端から書き、本文はこれと行を変えて書く。

(4) こまどりと句読点

本文は、書きだしおよび改行後の書きだし部分を1こまあける。また見出し番号の次も1こまあける。句点は[.]、読点は[,]とし、1こまを占める。

(5) 脚注

本文中では、右側に*, †, ‡, §の順に記号をつける。

(6) 文字指定

物理量を表す英字はイタリック体とし、その他の英字(単位: kg など、関数(著者の定義でない)・演算子: sin, det など、一般用語、固有名詞)は立体とする。

(7) 数式

数式は改行して2行取りとする。式の右に(1)のように数字を括弧で囲んで式番号として付け、本文中では「式(1)」のように引用する。分数式を本文中に入れるときは、 $a/b, (a+b)/(c+d)$ のように1行に書く。

2.3 参考文献

本文中での参考文献は、引用箇所の右肩に番号を¹⁾もしくは^{1,2) 3-7)}のように記入する。文献の一覧は、下記の形式で本文の末尾にまとめて記載する。著者は全員を記載する。雑誌名は省略しない名称を記載する。また、文献の一覧のカンマ、ピリオド、コロンは、和文の場合には全角とする。英文の場合には半角とし、後ろに半角スペースを入れる。

DOI (Digital Object Identifier) が付与された文献をリストする場合には、DOI を付与することが望ましい。

(1) 雑誌の場合

番号) 著者名: 表題, 雑誌名, 巻(号), 頁-頁, (年).

一例-

1) 日本太郎, 石英硝子: 人工の手の機構と運動, バイオメカニズム学会誌, 2(1), 10-15, (1993).

2) Nihon, T. and Tokyo, J.: Biomechanics of joints, Journal of Biomechanics, 3(1), 20-25, (1994).

(表題は最初の文字だけ大文字にする.)

(2) 書籍の場合

番号) 著者名: 書名, 頁-頁, 出版社, (発行年).

一例-

3) 東京太郎: バイオメカニズム入門, 50-70, 日本出版, (1985).

4) Yamaguchi, G. T.: Dynamic modeling of musculo-skeletal motion, 158-159, Kluwer Academic Publisher, (2001).

(3) 編著書籍の場合

番号) 著者名: 表題, 編集者名(編): 書名, 頁-頁, 出版社, (発行年).

一例-

5) 鳥居鎮夫: 衝動行動, 中村嘉太郎, 坂田英夫(編): 脳の科学 II, 123-145, 朝倉書店, (2000).

6) Camuri, A., Morasso, P. and Zacca, R.: Dance and movement, In: Morasso, P., Garozzo, N. and Tagliasco, V. (Eds): Human Movement Understanding, 85-124, North-Holland, (2002).

- (4) DOI が付与された文献の場合
番号) 著者名: 表題, 雑誌名, 巻(号), 頁-頁, (年).
一例-
- 7) 日本太郎, 石英硝子: 人工の手の機構と運動, ○○○○
○ 学会誌, 2(1), 10-15, (2014). DOI:
10.14923/transinfj.2014JDP0001
- 8) Nihon, T. and Tokyo, J.: Biomechanics of joints,
Journal of Biomechanics, 3(1), 20-25, (1994). DOI:
10.1016/j.jbiomech.1994.11.002
- (5) Web ページの参照
Web ページは改版や消滅の可能性があるので, 参考文献
とはせず, 脚注に記述する.
サイト管理者, URL (年/月/日確認)
* バイオメカニズム学会, <http://sobim.jp/> (2013/3/1 確認)

2.4 図表説明一覧

図表の説明は, ページを改めてまとめて一覧できる形に記載し, 原稿に添付する. 図表説明は和文のみとする. 図表番号は図1, 表1 などとする.

2.5 図表

採録決定後に, テンプレート原稿に貼り付ける図表とは別に, 原図を個々のファイルとして保存して提出する. 図表は一つずつ, 線画 (ベクトルデータ) の場合には PDF, EPS あるいは PowerPoint 形式で, 画像 (ビットイメージ) の場合には JPEG あるいは TIFF 形式で, ファイル名を図1, 表2 などの通し番号にして保存する.

図表は, 原図を組版ソフトウェアで配置してオフセット印刷する. 原図がカラーでも白黒印刷になる. 写真は図に含める. 写真は濃淡のはっきりしたものとし, 画素数は刷り上り寸法 1 インチあたり 350 画素 (350 画素で刷り上がり 2.54 cm になる) 以上が望ましい.

他者に著作権が帰属する資料を引用の範囲を越えて¹使用する際には, 著者がその許可申請手続きを行うこととする. 図表を引用・転載する場合には, 引用・転載元の情報を図表の説明に記載する.

2.6 謝辞

謝辞がある場合には, 本文の最後, 参考文献の前に書く.

2.7 著者紹介

「研究」「投稿解説」の場合は, 氏名, 学歴, 職歴, 研究テーマ, 所属学会などを記載した著者紹介を作成する. 第1 著者は, 200 字以内で, 顔写真のファイルを添付する. 第2 著者以降は, 100 字以内で写真なしとし, 希望者のみ掲載する.

一例- (200 字)

筑羽太郎 (つくばたろう) 1984 年筑羽大学大学院工学系研究科博士課程満期退学. 1990 年工学博士. 1985 年筑羽大学工学部精密機械工学科助手. 現在, 製品科学大学理工学部産業機械工学

科教授. 主として電動義手の開発, 多関節型ロボットの研究に従事. 精密工学会, 計測自動制御学会, 日本 ME 学会, 日本ロボット学会の会員. (バイオメカニズム学会正会員)

2.8 誓約書

以下の項目についての誓約書を添付する: 投稿内容が倫理規定に従っていること, 論文不正・捏造がないこと, 著作権が適正に処理されていること, 出版物の著作権の帰属がバイオメカニズム学会にあること, 著者全員が原稿の内容に責任をもってのこと. 誓約書の様式は, 本学会のホームページからダウンロードできる.

2.9 原稿の PDF 化

寄稿希望者は学会ホームページからテンプレートをダウンロードし, 所定の形式で原稿を作成して PDF 化したものを電子投稿システムを利用して提出する. PDF 化する原稿は, 1. 原稿, 2. 誓約書とし, これらを別々に作成する. PDF ファイルに変換できない場合には, 学会事務局に問い合わせること.

2.10 電子ファイルの提出

採録決定後に PDF 化しない状態の原稿の電子ファイルを電子メールに添付して提出する. 電子メールを利用できない場合は, 学会事務局と連絡をとり, CD-ROM による送付など可能な方法を用いる. 図を除いた全ての原稿を, MS-Word あるいはテキストファイル形式で保存する. 図の電子ファイルは, JPEG, TIFF, EPS, PDF, PowerPoint などの形式が分かるようにする. 図表を配置したテンプレート原稿をレイアウトの参考とするが, 必ずしもテンプレート原稿の通りに印刷されるとは限らない.

3. 掲載料

寄稿が採用された場合, 下記の論文掲載料を申し受ける.

	研究 投稿解説	ショートペーパー 報告
基本ページ数	6	2
上限ページ数	規定なし	ショートペーパー:4 報告: 規程なし
掲載料	¥50,000	¥20,000
超過料金	¥10,000/頁	¥10,000/頁
別刷り料金 (20 部単位)	¥50/頁/部	¥50/頁/部

4. 執筆の要点一覧

	研究 投稿解説	ショートペーパー 報告
和文要旨	○	
英文要旨	○	○
本文	○	○
図表説明	○和文	○和文
図表	○和文	○和文
著者紹介	○	
電子ファイル	○	○

注) 上記要点一覧は本文を日本語で執筆することを前提としたもの. 本文を英語で執筆する場合もこれに準ずるが, 和文表題などは不要.

¹日本医書出版協会

<http://www.medbooks.or.jp/copyright/forauthor/quot.php>
(2015/12/31 確認)